

やばば

議会だより

216
2021.4.16
岩手県
矢巾町議会



令和3年度 予算可決

新たな日常の実現にむけ 2

予算審議

議論白熱 4

町政を問う

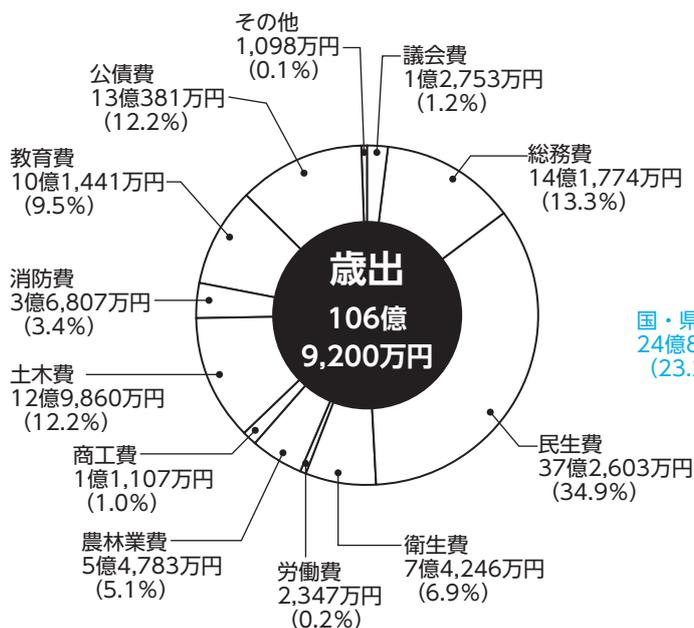
代表質問3会派・一般質問 11 議員 12

矢巾北中学校入学式
(関連記事...P28)

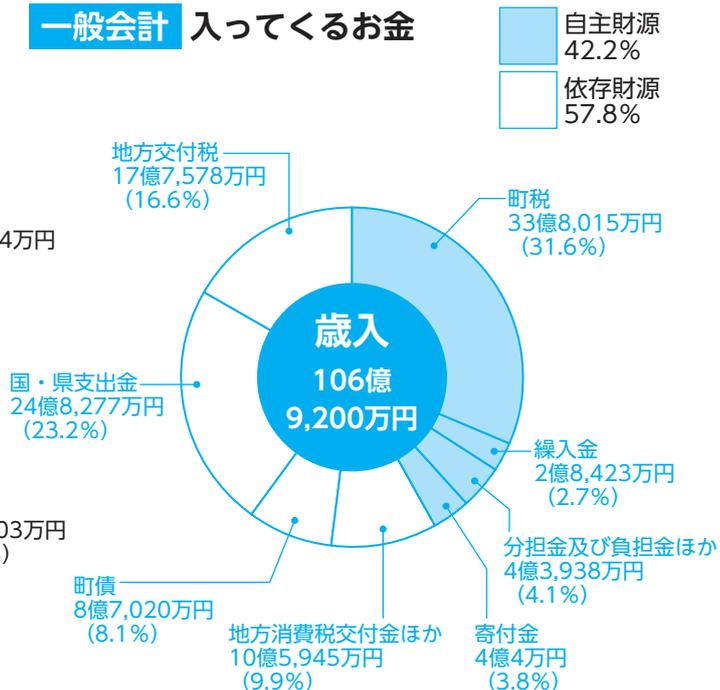
の実現にむけ

定例会3月会議は2月18日から3月18日まで29日間開催されました。
 令和3年度の当初予算を予算決算常任委員会で慎重審議し、本会議において
 すべて可決しました。

一般会計 使うお金



一般会計 入ってくるお金



用語説明

総務費

庁舎、財産等の維持管理等のための経費

民生費

児童手当や高齢者、障がい者など、福祉のための経費

公債費

町が借りたお金の返済

自主財源

皆さんから納めていただいたお金

依存財源

国や県からもらえるお金

繰入金

町の貯金を取り崩して使うこと

分担金・負担金

保育料など、特定のサービスを受ける者からもらうお金

町債

町が借り入れたお金

国・県支出金

国や県からの補助

地方交付税

国が市町村の人口や面積などの割合を基に交付するお金

国民健康保険事業
23億2,261万円



国保加入者の医療費や
特定健診、保健指導など

介護保険事業
23億2,005万円



介護サービスの給付、介護
予防事業など

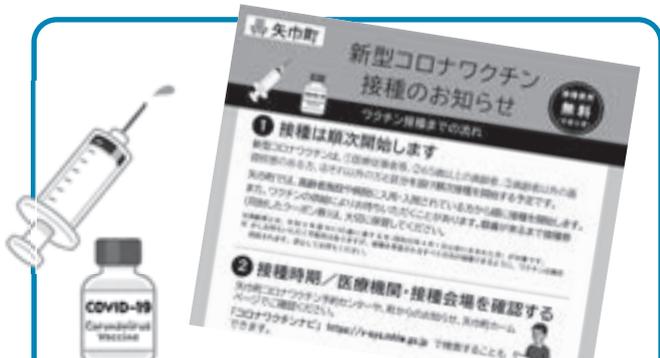
後期高齢者医療
2億2,744万円



主に75歳以上の方の保険証交付
や高額療養費の受付など

新たな日常

主な事業をピックアップ



**新型コロナウイルス
ワクチン接種事業**
3,461万円

65歳以上の予防接種業務委託料



**町営住宅
改修事業**
4,035万円

町営高田住宅・矢巾住宅の集約化や森が丘住宅外壁等の修繕



**地域型保育
給付事業**
5,672万円

小規模保育事業所が令和3年度に1カ所増えて4園に



重層的支援体制整備事業
7,513万円

町民が抱える課題の複雑化、複合化に対応するため、高齢、障がい、子ども、生活困窮など、あらゆる分野の関係機関と連携を図り、町全体のセーフティネットを強化



**小中学校
維持管理事業**
4,925万円

矢巾北中のテニスコート修繕ほか小中学校の補修費

水道事業会計

収益的	収入	8億9,078万円
	支出	6億7,948万円
資本的	収入	1億2,979万円
	支出	7億2,460万円

下水道事業会計

収益的	収入	11億6,651万円
	支出	11億 729万円
資本的	収入	3億6,096万円
	支出	8億1,017万円

用語説明

収益的
水道水の供給や汚水の処理の予算

資本的
施設の新設や再整備の予算

令和3年度
予算審議

議論

予算決算
常任委員会

白熱

予算審議は、議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会(廣田清実委員長、昆秀副委員長)で審議しました。

一般会計

財政

質問 補助金が全体的に減額されているが、一律の減額か。

回答 各団体に1割減額をお願いしており、内部留保が多い団体ではそれ以上もある。

質問 コロナ禍であることから特別職給料費減額の検討は。

回答 町長・副町長・教育長のコロナ禍での役割は大きく、現状の報酬で計上した。

質問 企画財政課が役場の若手職員と取り組んでいる財政健全化プロジェクトの状況は。

回答 精査中であり、プライマリーバランスの黒字確保、経常収支比率の改善などを行い、次年度予算につなげたい。

総務・防災

質問 職員研修をオンラインで行う考えは。

回答 現在はオンライン受講が主だが、対面での良さもあり選択できるようにしている。

質問 交通指導員は定数25名に対し16名だが、人員確保対策の状況は。

回答 定数を20名にし、3班の旧村単位から、活動しやすい2班集体に変え維持増員していく。

質問 町の防災訓練の予定は。また地域で行う場合の補助はあるか。

回答 町の防災訓練は9月5日を予定している。地域への補助はないが備蓄品を使った訓練により各地区に出向いて指導支援したい。

回答 遊具の専門的な保守点検を行った結果、使用不可能で危険な遊具を撤去した。遊具は宅地造成した業者が設置しており、町が設置したものではない。

自治会で必要な際はコミュニティ補助金で対応する。

質問 水害対策になる田んぼダムは、所有者の了解を得たと聞くと、ほ場の場所は。

回答 田んぼダムの効果を出すためには、農地の状況が整っている必要がある。

ほ場整備が終わっている矢巾スマートインター西側の煙山地域に設置を計画している。

質問 ふるさと矢巾会運営補助金の減額理由は。

回答 ふるさと矢巾会から、コロナ対策など、町の施策に充当してほしいとの申出があり減額した。

質問 環境美化事業での県道不動盛岡線の花植えの予定は。

回答 6月末に予定している。昨年はコロナ禍で連絡が遅れたが、今年は早めに決定しみなさま方のご協力をいただき実施したい。

まちづくり

質問 公園の遊具が撤去された後は再設置の予定がないと聞くがなぜか。



業者が設置した公園遊具 (トコタウン内公園)

産業・建設



写真は令和元年度夏まつり
(昨年度はコロナ禍で中止となる)

信がポイントになると考える
がどうか。

質問 森林環境譲与税は、森林整備事業に活用するということだが、具体的な内容は。

回答 町有林の植林前の準備作業を計画しており、主に岩清水・和味周辺を行う予定。また、民有林の意向調査も一部始めている。

質問 企業誘致活動を盛岡市・滝沢市・矢巾町などの広域で行っている。企業が当町を選択するかは、町の魅力発

回答 矢巾町の魅力は主要幹線が通り交通アクセスがよいこと。また、流通センターがあり卸売・小売・運送業が多く立地していることである。

企業のニーズを把握した企業立地後の支援などで他の地域との差を全面的に発信していきたい。

質問 特産品宣伝普及委託費は毎年計上されているが、今後の目指す方向は何か。

回答 継続して農産物を使っ

た加工品のほか、農産物も特産品と位置づけ矢巾ブランドをPRする戦略を考えていく。

質問 インターンシップ事業の内容は何か。

回答 大学生が対象で、実際に30日程度企業の一員として働き、体験することを想定している。

質問 夏まつり実行委員会負担金に50万円計上されているが、どのような形で行うのか。

回答 コロナ禍により開催の決定は現時点ではできない。

打ち上げ花火や餅まきのような人が密集する事はできないだろうと考えるが、感染症対策を工夫し、各種イベントを開催していきたい。

質問 令和3年度に白沢踏切の拡幅工事を予定しているが、農繁期の通行止めを避けてほしいがどうか。

回答 JRでは酷暑期や酷暑期の線路工事はしないこととなっており、5月11日から7月16日の約2か月間を終日全

面通行止めを予定している。う回路については早めに関係者に周知するほか案内板を設置する。

環境・福祉

質問 地球温暖化や二酸化炭素削減は町民も興味を持っていくが、今後の進め方は。

回答 ゴミ減量・資源化にできるところから取り組みたい。温暖化対策を中心とした環境対策を、小学生や町民に対し広めていきたい。また、バイオマス等も視野に入れたい。

質問 コロナワクチン個別接種体制について、どの程度決まっているか。

回答 紫波郡医師会と調整中であり、矢巾町内の医療機関には矢巾町分を、紫波町内の医療機関には紫波町分の個別接種をお願いする考えで進めている。

質問 母子手帳アプリは予算計上されているのか。

回答 令和3年度に導入予定であり、業者と打ち合わせの段階である。



踏切内の歩道設置工事が行われる白沢踏切

令和3年度予算審議
熱白論議 予算決算常任委員会

生きがいと安心のまちづくり

環境・福祉

質問 えんじょいセンターとおれんじボランティアの運営体制はどのようになるのか。

回答 昨年10月10日に開所したえんじょいセンターの職員体制は、保健師1名、おれんじボランティアの事務局を兼任する認知症地域支援推進員1名で運営している。

新年度に1名増員し、えんじょいセンターを中心におれんじボランティアの事務局としてさまざまな事業に当たる。



えんじょいセンターでは、毎週金曜日に「お茶飲み談話」や「軽スポーツ」が楽しめる「えんじょいサロン」を開催している
 (えんじょいセンター：旧町民センター食堂)

質問 町が支援している高齢者を対象とした無料の除雪作業は、登録がなくても対応できるのか。

回答 登録が必要であり、シーズン前に民生委員に申し込んで登録される。対象は高齢者などの世帯だが状況を確認し柔軟に対応している。

教育・文化

質問 部活指導員を1名増員する予定だが配置先はどこか。

回答 現在、矢巾北中学校に2名、矢巾中学校に1名配置

済みで、新年度は矢巾中学校に1名を増員し各校2名で対応する予定である。

質問 学校での防災教育の予算状況は。

回答 特別な予算措置はしていないが、復興教育の学習項目に防災部分が入っている。

質問 成人式開催費は令和3年度のみ計上されているが、延期になった令和2年度の成人式はどう考えるか。

回答 令和2年度で延期になった成人式費用は、9月までに補正予算で計上し、開催を12月26日に予定している。

質問 田園ホール30周年記念事業はどのような内容か。

回答 令和2年度中に開催予定だったが、コロナ禍で令和3年度に予算化した。

町民劇場と音楽団体が一緒になって音楽劇を行い、多くの町民の方がステージに上がる体験をさせてあげたい。状況をしながら実現できるように努力していきたい。

企業会計

上下水道

質問 下赤林の集落排水を公共下水道に接続する予定だが、残りの集落排水の今後は。

回答 残りは間野々・不動・西郷浄化センターの3か所である。

今後10年間隔で公共下水道との接続を考えているが、その時点での財政状況を見ての対応となる。



西郷浄化センター (白沢)

審査報告

予算決算常任委員会委員長 廣田 清美

15項目の意見を附し可決

- コロナワクチン接種に関する町民への情報提供とともに、接種体制強化に努められたい。
- やすい運行に努められたい。
- 重層的支援整備事業は、関係各課の連携を強化した計画を策定したうえで町民への周知に努められたい。
- えんじょいセンターの運営については、誰でも立ち寄れる場として効果的な活用を努められたい。
- 特産品の開発と6次産業化の推進にあたっては、各事業者と連携を図り事業支援に努められたい。
- 農業経営体への支援を強化し生産意欲を高める取り組みを推進し、担い手の育成に努められたい。
- 地区計画制度による開発を確実に推進し、企業誘致に努められたい。
- 生活道路の整備は、効率的な実施に努められたい。
- 防災対策として、河川の浚渫を計画的に進めるとともに住民参加の避難訓練を実施されたい。また、消防団員確保については女性団員や企業団員等の勧誘に努められたい。
- GIGAスクールは教員への負担軽減に努め、児童生徒に対する教育についても有効に活用されたい。
- 第8期介護保険事業計画をもとに、効率的業務に努められたい。
- 水道管の耐震化を計画的に進めるとともに下水道の不明水対策に力を入れ、より安定した上下水道事業の推進に取り組まれたい。

令和3年度

予算について

討論

表決に付される前に、令和3年度予算に対し、3人の議員が反対と賛成の意見を表明しました。

賛成 多くの事業に評価
実行に期待

城内山の整備による西部地域と連携した観光振興や、小規模保育事業の拡充、町営住宅集約化に向けた取り組みなど、多くの予算について評価できる。各事業が計画どおり実行されることを期待する。
また、新型コロナウイルス接種の円滑な実施を期待し本予算に賛成する。

村松 信一

反対 コロナ禍
町独自の支援を

コロナ禍の現在、これまで行われてきた事業を見直して財源を確保し、町独自の支援策を予算化する必要がある。

飲食業やサービス業、非課税世帯、子育て世帯への支援が不十分なのは問題である。

また、GIGAスクール開始で目に負担がかかると思われるが、検診の回数が少ない。

以上のことから反対する。

小川 文字

反対 地元中小企業の
経営委縮を懸念

ふるさと納税やメディアカルフイットネス推進事業は、町外企業に多くの支払いがなされるが、地元中小企業に対する配慮がなされていないと考える。

国民健康保険税と介護保険料が高く引き下げを望む町民の命と暮らしを守るための支援策が不足している。

以上のことから反対する。

川村 よし子

ワクチン接種体制を

1月会議・2月会議において、新型コロナウイルスワクチン接種体制などの補正予算を審議・可決しました。また、コロナ禍で困窮する中小企業に対する支援策を可決しました。

令和2年度一般会計の総額は148億6298万円となります。

1月会議

補正予算

主な歳入

▽新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金
236万円

主な歳出

▽ワクチン接種券作成送付
業務委託料
236万円

▽中小企業支援事業
家賃支援給付金
877万円

1月第2回会議

補正予算

主な歳入

▽一般寄付金(ふるさと納税)
1億7500万円

主な歳出

▽ふるさと納税返礼品
3479万円

▽ふるさと納税運営
業務委託料
2350万円

▽除雪委託料
6150万円

2月会議

発議案

議会政務活動費 条例の一部改正

コロナ禍で活動が制限されるため、政務活動費を令和3年度に限り現行の1人月額1万6千円から1万円に減額。

補正予算

主な歳入

▽新型コロナウイルス
ワクチン接種対策費負担金
368万円

主な歳出

▽新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金
2221万円

▽接種予約システム管理
業務委託料
1174万円

▽ワクチン接種券作成送付
業務委託料
491万円

▽新型コロナウイルス
ワクチン接種業務委託料
368万円

質問 ワクチン接種業務委託料の内容は何か。

料の内容は何か。

回答 コールセンター設置の関係である。全部委託するのではなく、町の保健師も予約や相談業務を行い、寄り添った支援をしていきたい。



予約管理システムの研修を受ける
矢巾町コロナワクチン予約センター職員

3月会議

人事

人権擁護委員の推薦



新沼 武彦さん
(矢巾3区) 新



中澤 美香さん
(矢巾1区) 新



宮 一夫さん
(西徳田2区) 再

任期は令和3年7月1日から3年間。

農業委員任命に同意

農業委員16名の任命に同意しました。任期は令和3年4月24日から3年間。

高橋 かおる (新) 下赤林	佐藤 俊孝 (現) 南矢幅2区
藤原 幸藏 (現) 南矢幅2区	金子 忠博 (新) 北郡山
川村 和男 (現) 下北	佐々木 達也 (新) 煙山
白澤 克美 (現) 室岡	星川 忠博 (新) 舘前
佐々木 昭英 (現) 広宮沢1区	熊谷 洋司 (新) 下赤林
川村 良道 (現) 東徳田2区	阿部 江利子 (現) 間野々
高原 弘明 (新) 白沢	佐々木 博 (新) 太田
白澤 和実 (現) 桜屋	中川 和則 (現) 高田2区

(敬称略)

工事請負契約

南島グリーンハイツ 工事変更契約

段差の解消や、火災時のリスクを減らすための工事に約450万円を増額します。

議会で決めたこと

質問 工事の変更により、開所の時期に影響はないか。
回答 開所日に変更はない。開所式が4月17日、本格営業は5月1日の予定。

条例

介護保険条例一部改正

第1号被保険者(65歳以上)の第7〜9段階の所得金額を改正します。所得段階ごとの保険料は同額です。

質問 令和3年度からの保険料金改定の考え方は。
回答 全国一律の考え方で、上の階層だった方が1階層上からずみずみため、保険料が上がらないことになる。

補正予算

主な歳入

- ▽土地売却収入 3900万円
- ▽一般寄付
- 岩手電工(株) 500万円
- 矢巾ライオンズクラブ 15万円

主な歳出

- ▼移動式スーパー生活支援事業補助金 450万円

質問 移動式スーパー支援事業の開始時期はいつか。
回答 4月から開始予定。エンジンジョイなどの公民館活動等の際に販売するなど、地域の要望を聞いていきたい。



4月から営業する移動販売車

みなさんからの

請願・陳情

▽道路整備に関する請願
請願者

高田第三行政区自治会

会長 中村 滋

紹介議員 昆 秀一

吉田 喜博

採択

審査意見

自治会内の多くの道路は幅員が狭く相互通行もままならず、歩道も整備されていない状況である。

また、国道4号と接していることから、車両の往来も多い道路である。

交通事故の未然防止、緊急車両が目的地まで到着できるように、道路拡幅や歩道設置などの道路整備を行い、地域住民が安全・安心な生活環境を確保する必要があると判断した。

以上のことから、本請願の趣旨は理解できるものである。

各議案の採決状況

令和3年定例会1月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果			
		藤原信悦	吉田喜博	小笠原佳子	谷上知子	村松信一	廣田清実	高橋安子	水本淳一	赤丸秀雄	昆秀一	藤原梅昭	長谷川和男	川村よし子	小川文字		山崎道夫	廣田光男	高橋七郎
第1号	令和2年度一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和3年定例会1月第2回会議

第2号	令和2年度一般会計補正予算(第11号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
(発議案)第1号	矢巾町議会政務活動費の交付条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	○	○	可

令和3年定例会2月会議

第3号	令和2年度一般会計補正予算(第12号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	可
-----	---------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

令和2年定例会3月会議

(諮問)第1号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
(諮問)第2号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
(諮問)第3号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
第4号	令和元年度盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
第5号	南昌グリーンハイツ改修工事請負変更契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可
第6号	町議会議員及び町長の選挙運動の公営条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第7号	いきいき農村基盤整備事業分担金徴収条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第8号	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正施行に伴う関係条例の整備条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第9号	一般職の職員の給与に関する条例及び公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第10号	農業研修施設設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第11号	町営住宅等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第12号	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第13号	交通安全条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第14号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第15号	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第16号	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第17号	令和2年度一般会計補正予算(第13号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第18号	令和3年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可
第19号	令和3年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可
第20号	令和3年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可
第21号	令和3年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可
第22号	令和3年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可
第23号	令和3年度下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可
第24~39号	農業委員会委員(16名)の任命に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
第40号	職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第41号	令和2年度一般会計補正予算(第14号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第42号	令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第43号	令和2年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第44号	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第45号	令和2年度水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第46号	令和2年度下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
(発議案)第2号	高田第三行政区内道路整備に関する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=賛成 ●=反対 可=可決 否=否決 同=同意 認=認定 欠=欠席 注:藤原由巳議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと

総務・産業建設・教育民生 常任委員会 活動報告

3つの常任委員会からそれぞれの所管事務について、調査や研究をした内容について報告がありました。

概略は以下のとおりです。

詳しい内容は議会事務局で閲覧できます。



地区避難所の受付設置訓練

総務常任委員会

テーマ

●安心と信頼が寄せられる
健全な財政運営

取組内容

- 各課事業計画の確認と意見交換の実施
- 公共マネジメント計画調査検証
- デマンド型乗合バスの他自治体調査検証
- 地域住民との連携した防災活動の調査検証
- 矢巾町議会における災害対応指針策定

産業建設常任委員会

テーマ

●産業の活性化と利便性を
高めるまちづくり

取組内容

- 観光ビジョンの策定について
- 国道4号沿線農振白地地帯の地区計画の取り組み状況について
- 矢巾スマートIC周辺の土地利用構想について
- 町営住宅集合化に向けた事業計画の進捗状況について



国道4号沿線農振白地地帯の現地調査



子育てガイドブックとファミリー・サポート・センター会報誌

教育民生常任委員会

テーマ

●子育て世代への支援策について

●健康寿命の促進

取組内容

- ファミリー・サポート・センター事業制度
- 子育て支援ガイドブック
- 子どもの医療費無償化の調査検証
- エン(縁)ジョイやはば ネットワーク事業とセンター利用の検証

ズバリ 町政を問う

代表質問

交渉会派3会派が代表質問を行い、活発な議論が展開されました。
(本町では、交渉会派は3名以上で構成される会派としています。)

- 町民の会 廣田 清実 議員 P13
○令和3年度施政方針 ○令和3年度教育行政方針
- 一心会 廣田 光男 議員 P14
○令和3年度施政方針と令和3年度一般会計予算
○農政課題と矢巾町農林業ビジョンの検証
- 矢巾明進会 村松 信一 議員 P15
○スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に向けた取り組みの考え方
○地域住民参加型による高齢者支援活動 ○令和3年度教育行政方針

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

- 昆 秀一 議員 P16
①コロナ後を見据えた町のビジョン
②広聴広報のあり方等
③芸術の効用・芸術振興とまちづくり
④男女共同参画社会の実現、LGBTQの理解への推進
- 赤丸 秀雄 議員 P17
①町長の施政方針演述内容
②教育環境などの更なる充実
③町のデジタル化推進事業
- 山崎 道夫 議員 P18
①本町における持続可能な農業政策の推進
②AIを活用した婚活事業支援
③コロナ禍における失業者等への支援策
- 高橋 安子 議員 P19
①本町における自殺の現状と対策
②児童虐待等の現状と対策
③生活保護等の状況
④普代村との友好都市20周年記念事業
- 藤原 信悦 議員 P20
①新型コロナウイルス感染症の流行に伴う事業継続等の支援
②鳥獣被害対策
③産業振興対策
- 水本 淳一 議員 P21
①矢巾町史の編さん
②地域包括ケアシステムの構築
③矢巾町の観光ビジョン
- 藤原 梅昭 議員 P22
①住民の命と財産を守るまちづくり
②教育環境の充実
- 小笠原 佳子 議員 P23
①乳がん対策
②3歳児健康診査における視力検査
③ファミリー・サポート・センター事業
④居住支援の強化
- 川村 よし子 議員 P24
①国民健康保険税の引き下げ
②第8期介護保険事業計画
③学校給食費無料化と学校給食の民間委託
- 小川 文子 議員 P25
①スーパーシティ構想
- 谷上 知子 議員 P26
①新型コロナウイルスのワクチン接種とPCR検査
②若い世代の再就職への支援
③高齢者の確定申告

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。
詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。



ひろた きよみ
廣田 清実 議員
(町民の会)

宅地拡大の現状は 3カ所で 33 ヘクタールを申請中

質問 本町では宅地が不足しているが、市街化区域拡大のための取り組みと令和3年度の見通しは。

町長 市街化区域拡大の取り組み状況は、現在岩手県と東北農政局で都市計画と農林漁業との調整措置に基づく協議を行っており、区域区分の見直し協議に時間を要していると聞いている。

今後、協議が終了となり次第、都市計画法に基づく所定の手続きを進める。

質問 市街化区域拡大申請の地区は3カ所と聞いているが、具体的な場所はどこで、面積はどのくらいか。また、民間開発であるが開発業者は決まっているのか。

町長 不来方高校の南側周辺2カ所と医大病院周辺を予定している。

面積は市街化区域としては約33診、そのうち宅地などとして約22診を予定している。なお、開発業者はまだ決定していない。

質問 市街化区域における町有地の活用状況は。

町長 普通財産の市街化区域の利用可能な土地で、4件が借地契約を行っている。

その他、令和2年度に5区画が民間に売却済み。

未処分は流通センター2区画と元広宮沢雇用促進住宅駐車場の計3区画である。

そのうち2カ所が事業系に、1カ所は住宅系に令和3年度中に処分したい。

なお、大規模な旧矢巾中学校跡地とかつこうグラウンドを含めた町有地の土地利用については検討中。
年内には町の方針を決定し事業実現を目指す。



宅地化が待たれる市街化調整区域

学力の

目標数値は

県平均以上を

目指す

質問 本町の学力目標はどの

ように設定しているのか。

教育長 県平均を100として104を目標としている。

教科ごとにばらつきはあるが、現在は100から101の達成率であり、今後も学力向上を目指す。

施政方針 何を重点に コロナ対策が最優先



ひろたみつお
廣田 光男 議員
(一心会)

質問 新型コロナウイルス感染症対策ワクチン接種はどのように進めるのか。

町長 4月以降65歳以上の方から接種券を交付するとともに、万全の体制で安全・安心な接種を行う。

質問 デジタル化を推進するために機構改革はするのか。

町長 総務課に専任職員を配置して組織体制を強化・対応していく。

質問 城内山に観光拠点としての散策道路を。西部地区全体を点と点を結んだ癒しの場に整備する考えは。

町長 観光ビジョンにおける重要課題と捉え、3年度から



産地交付金で支援しているズッキーニ栽培
農事組合法人^{あずま}東農産で職場体験 (矢巾中学校2年生)

本格的に事業着手する。登山道やトレッキングコース等の開発計画を検討する。

質問 3年度予算編成において、町民税等歳入計上はコロナ禍の現状を踏まえ十分な検討がなされているか。

町長 次年度においては予算編成方針や、中期財政計画を町民に示し、財政健全化に取り組んでいく。歳入見込みは厳しいと認識しているが、歳入欠陥を起さないよう試算している。

農業経営体の持続的な育成は産地交付金で高収益作物の推進

質問 農地の活用推進には都市と農村が調和したまちづくりが必要であるとしているが、特に耕作放棄地や潜在的耕作放棄地解消の対策は進んでいるのか。

町長 本町の経済事情の変動を見定めつつ、都市的土地利用との調整を図りながら優良農地の保全に努めていく。

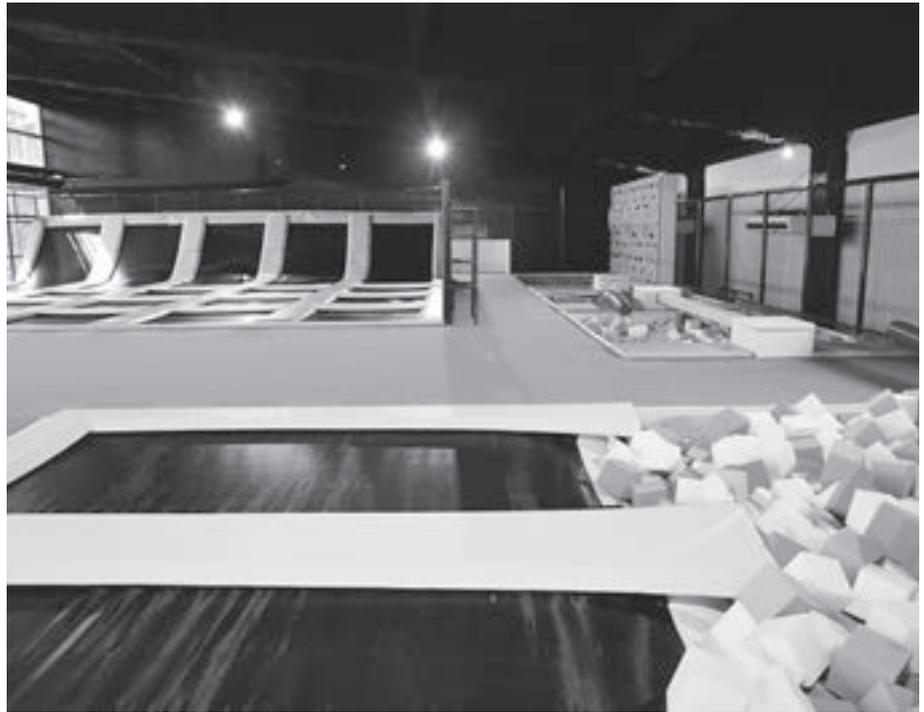
質問 持続可能な農業経営体の育成策として、農協や協議会とともに支援策を模索していくとあるが、具体的にどんな状況にあるか。

町長 高収益作物の推進に向けて産地交付金で支援している。具体的には、ほ場整備事業の推進・農業用機械の導入・各種研修会の開催をしているほか、農協では有利な販路の開拓を推進している。



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)

余暇活動の介護予防効果は 予防効果は認められる



老若男女が楽しめる やはばアスレチックパーク (旧南昌グリーンハイツ)

質問 社会参加活動や余暇活動は介護予防に効果はあるか。
町長 スポーツや趣味関係、ボランティア等の参加者は認知症リスク等を有する割合が少なく介護予防効果がある。

質問 高齢者活動の幅を広げるためスポーツ施設として整備中の旧南昌グリーンハイツに高齢者等が楽しむスポーツゲーム機器の導入を図っては。
町長 フレイル予防の観点からも運営会社と協議し、ぜひ導入したい。

質問 構想について、どのように住民合意形成を図るか。
町長 町民の代表である協議会の議決、議会の議決、住民投票など適切な方法を選択し町民の意向を反映させる。ワークショップを行いより丁寧に取り組む。

たすけあい隊に除雪や草取り等の要請があるが、組織数の強化に向けた支援が必要ではないか。
町長 社会福祉協議会と協力し、組織数や会員数の強化に努めたい。

質問 高齢者世帯への情報不達対応として、各種相談に対応できるような各種案内パンフレットや宛名付きハガキ、便せん封筒等を「置き葉箱」のように「通信箱」として対象家庭に配置してはどうか。
町長 情報不達を防ぐため、広報やはば・ホームページ、やはラヂを活用する。また民生委員などの訪問により情報提供を徹底する。「通信情報箱」は検討したい。

質問 個人情報保護と監視社会を懸念する声もあるが。
町長 個人情報保護法令等の遵守を含め、住民等の個人情報を適切に運用する。また、町中に監視カメラを設置する事や決裁への顔認証システムの導入は行わない。

質問 どのようなプロセスで特区に指定され、またいくつの自治体が指定を受けるのか。
町長 国家戦略特区諮問会議を経て、最終的に閣議により5つ程度が指定される。

スーパージンテー
応募の考えは
事業者からの提案を
まとめ応募したい

代表質問 町政を問う



こん しゅういち 議員
昆 秀一
(一心会)

パートナーシップ制度導入を 広域圏での実施が望ましい

質問 SDGsの目標に「ジェンダーの平等を実現しよう」とある。また、SDGsのスローガンでは「誰一人取り残さない」ともある。現在、町としてはSDGsの目標実現に取り組んでいるが、同性パートナーシップ制度の導入をするべきではないのか。

町長 パートナーシップ制度は全国の多くの自治体が導入や検討を進めている。しかし証明効力が限られ、町単独ではなく、広域圏で実施することが望ましいと捉えている。

質問 教育の中で、児童生徒のLGBTQの理解度はどうなっているのか。

今後、理解に必要なことは何だと考えているのか。

教育長 学校では性自認などの各種取り組みを行っていて、理解が進んできている。教職員も含め学校全体で理解の促進に取り組むことが必要だと考えている。

矢巾中学校では、女子生徒の制服をスラックスかスカートか選択できるようにする。

音楽のまち宣言 効果は 心豊かな まちづくりを目指す

質問 芸術は心の栄養になるものであり、QOLの向上にも役立つ。そのために町として芸術の振興を推進すべきである。

町では音楽のまち宣言をしてから、その後どのような効果があったのか。

町長 音楽のまちとして、各種の取り組みを行ってきている。今後も、町民の皆さんに音楽が行き届くような心豊かな



コロナ禍でも音楽で元気を届ける矢巾中学校吹奏楽部
(令和2年10月18日)

なまちづくりを目指す。

コロナ禍での 広聴広報は 多様な手段で周知

質問 現在はコロナ禍で町の広聴広報活動がままならないが、どのような考えのもとで行っているのか。

町長 広聴広報は町と町民の双方向コミュニケーションが基本であると考えている。今後も多様な手段により周知をしていく。

※QOL：クオリティ・オブ・ライフは「生活の質」などと訳され、総合的な活力、生きがい、満足度という意味が含まれる。

南昌・西部地域に散策コースを 令和3年度から取り組む



あかまる ひでお
赤丸 秀雄 議員
(一心会)



西部地域の観光情報も掲載されている「やばマップ」
(折りたたむとポケットサイズになる 写真右上)

質問 城内山整備と合わせ、南昌山麓・西部地域に森林浴を楽しめるトレッキングコースを設置する考えは。

町長 町観光振興ビジョンで西部地域の活用を重要課題と認識しており、令和3度から取り組むこととする。

町営住宅の 建て替えは 方針を策定中

質問 町営住宅を、集約して高層住宅とする考えは。

町長 高層住宅には、新たな用地確保が必要である。令和3年度中に方針を策定する。

Wi-Fi 構築の目的は 災害時などの 通信確保に配慮

質問 町内に高速無線通信設備を設置中であるが、どのような利用を考えてのことか。

町長 災害時の通信確保や自治公民館や町施設のデジタル対応を考えたものである。また、町民の格安利用も視野に検討を進めていく。

日で資料作成中である。3月中には議会へ説明したい。

給付型奨学金 対象者は 経済状況を 第一に考える

質問 来年度から給付型奨学金制度が始まるが、支給条件と対象者数はどうなるか。

教育長 支給型は経済状況を第一に考える。貸与型と合わせ15名程度を想定している。

GIGAスクールの 推進を 4月運用に向け 準備中である

質問 パソコンの保管を重視するあまり、授業で支障をきたす事例が全国的に発生している。町はその点は大丈夫か。

教育長 活用の準備を進めているところであり、その点を考慮し対応に努める。

輸出米栽培に取り組んでは 状況を注視し慎重に検討



やまざき みちお
山崎 道夫 議員
(一心会)



出荷前の町産米 (JA徳田倉庫)

質問 米価が下がっていると
の情報であるが、本町の米作
り農家への影響は。

町長 本町の稲作は農地面積
の7割を占め、米価の下落は
直接的な影響を及ぼすが、収
入保険制度や国の収入減少緩
和交付金など、セーフティー

ネットの活用により影響は限
定的なものと認識している。

質問 米の作りすぎが、米価
下落の一因と言われている
が、今年、岩手県も輸出産地
に選定された。米作り意欲を
減退させないためにも、輸出
米栽培に取り組んではどうか。

町長 米の輸出は、まだまだ
不確実な要因が多いことから
今後、国及び県の輸出に係る
取り組みの状況を注視しつつ、
JAと連携し慎重に検討して
いきたい。

A-1活用で 婚活支援を

i・サポが
システムを導入

質問 民間ではA-1(人口知
能)を活用した婚活が広がっ
ており、婚活支援として本町
も導入し、活用してはどうか。

町長 町では、カップリング
イベント「矢あコン」の開催
や、生き生き岩手結婚サポー
トセンター「i・サポ」の設

置・運営を県や他市町村等と
行っているが、i・サポでは
3月からA-1システムを導入
し、婚活支援事業を行う計画
があり、町の婚活事業と併せ、
相乗的に結婚を後押しするよ
う取り組んでいきたい。

失業者への 支援策は

相談等の
体制構築を強化

質問 コロナ禍における失業
者や、経営状況が厳しい事業
者に対し、支援金を支給する
などの考えはないか。

町長 一時的な支援策よりも、
相談体制の強化や円滑な求職
活動を整える体制構築と、持
続的に経営を維持できる体制
作りが最も効果的であると捉
えている。

町や商工団体、金融機関、
町民などが、町内事業所を盛
り立てていく思いを共有する
ことが重要であり、ウイズコ
ロナ社会に沿った施策を積極
的に推進していく。

本町の自殺対策は

「こころの体温計」アプリ導入



たかはし やすこ
高橋 安子 議員
(町民の会)

質問 全国的に自殺者数が増加している。中には子どもを道連れに自殺するケースもある。本町の現状はどうか。

町長 過去5年間の自殺者は、31名であり、うち令和2年は7名。残念ながら微増の現状である。

原因は人間関係や仕事の悩みによるうつ状態・病気・借金などの悩みが多い。

質問 自殺防止の取り組みとして、どのような対策をとっているのか。

町長 小中学生には、「心の授業」としてSOSの出し方教室の開催、一般には自身や家族のこころの状態をチェックできる「こころの体温計」を導入し対策を強化する。

児童虐待の

現状は

わずかながら増加

質問 実父母から虐待される悲惨な事件が多いが、本町で

は児童虐待相談は増加しているのか。

教育長 令和2年度の虐待件数は、2月末で48件。昨年度より3件増加している。

質問 児童虐待防止の対策は、



普代村との交流で行われていた少年野球大会 (平成 23 年 8 月)

普代村との

記念事業は

協議し

前向きに検討

質問 令和2年は、普代村との友好都市宣言から20周年の節目の年だったがコロナの影響で交流が出来なかった。今後、記念事業や交流の予定はあるのか。

町長 現在は具体的な予定はないが、普代村と協議のうえ前向きに検討する。

これまでは、県内外で農産物や特産品の共同での販売会や少年野球チームの交流試合、郷土芸能の発表会等を実施。本年は河津桜の寄贈を受け、ホールに飾り両町村の関係性のPRをした。今後さまざまな分野において相互協力していきたい。

教育長 子どもたちの欠席状況や家庭環境を把握し、関係機関と情報共有しながら、日頃から早期発見に努めている。

今後の事業継続支援は 国の補正予算と 町独自の支援策で



ふじわら 藤原 信悦 議員
(町民の会)

質問 当町に配分される第3次補正予算の内容と金額は。

町長 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として、1億2197万8千円が配分される。

質問 これまで町独自で進めてきた事業継続支援策の今後の取り組みは。

町長 感染拡大防止やポストコロナ後の経済社会を見据え、町内事業者の望む支援策を見極めていく。

また、これまで町独自で取り組んだ支援策の効果も検討しながら、持続的な経営が図れるよう継続して支援していきたい。



近年、町内でも鳥獣被害が多発している（無人カメラで撮影）

増える鳥獣被害

地域全体で取り組み

質問 鳥獣被害が近年増加しているが、農家が行う被害対策への支援の考えは。

町長 鳥獣被害は多方面にわたり深刻な影響を及ぼしていることは認識している。

また、鳥獣は広範囲に移動するため、農家だけでなく近隣の市町も含めた地域全体で取り組むことが重要と考える。

国の鳥獣被害防止総合対策

交付金や多面的支払交付金を活用し、支援していきたい。

今後は、捕獲した鳥獣の肉（ジビエ）も地域資源として活用する方向で考えたい。

質問 町は鳥獣被害が多い西部地域で観光開発を進めて行くが、観光客の安全対策も必要と考えるが。

町長 鳥獣が寄りつかないよう、全国の国立公園の事例を参考に対策を進めていく。

産業振興の 取り組みは

地元企業による 発展を目指す

質問 令和3年度施政方針で「中小企業基本条例」や「中小企業振興条例」を策定し、持続可能な活力ある発展を図ることだが、これまでの振興対策との違いは何か。

町長 地域経済の99%の担い手である中小企業をより一層盛り立て、町のさらなる発展を目指す。

新矢巾町史の編さんは 気軽に読める町史を



みずもと じゅんいち
水本 淳一 議員
(町民の会)



田園ホール開館 20 周年記念第九コンサート (平成 22 年 12 月)
田園室内合奏団、田園ホール混声合唱団、不來方高校音楽部ほか

質問 3村合併70周年に当たりのような矢巾町史を編さんするのかが。
町長 矢巾町の上位計画である総合計画を軸として構成し、文字ばかりでなく、写真を多く掲載し、誰もが見たくなるような町史にしたい。

質問 不村民歌・徳田村民歌のメロディー、および不明の煙山村民歌の再調査を。
町長 今回の調査でも、町民のみならず昔の写真や言い伝え等も含め、情報提供をお願いしていく。

質問 町のスポーツ史、音楽史、郷土芸能史の編さんは。
町長 さまざまな出来事があったので、町史に掲載する。

質問 郷土史等の歴史編さんに対する支援の考えは。
町長 その地域に限らず、町の貴重かつ重要な資料になるので、可能な限り支援する。

介護保険事業の 重点施策は

人材の育成・確保と
各種事業を充実

質問 町内高齢者のコロナ禍による健康への影響はないか。
町長 著しい影響の把握はないが、感染対策を徹底しフルイル予防に取り組む。

質問 第8期介護保険事業計画の重点施策は。
町長 介護サービス事業所と意見を交換し効果的な介護人材の育成・確保に取り組むほか、えんじょいセンターを拠点に認知症サポーター養成講座や介護予防教室等を充実。

史跡周辺に 賑わいを

コンセプトは
花と緑のまちづくり

質問 徳丹城史跡を活用した賑わいをどう創出するのか。
町長 史跡に梅の木などを植えて、花と緑でいっぱいになりたい。また、曲り家で「甘酒」や「ひつつみ」などを提供し、賑わいを出したい。

質問 郷土芸能保存事業において、最近の後継者育成と動画による記録保存の状況は。
町長 横笛等の講習会への参加費助成や、町郷土芸能大会を動画等で保存し、後世に継承する資料として活用する。

大震災から10年 今後は 被災地に寄り添い支援を継続



ふじわら 藤原
うめあき 梅昭議員
(一心会)



しほんせつ 湊中の太田川 令和3年3月撮影 (左下は湊渾前 令和元年7月)

質問 東日本大震災から10年たつが、被災地・被災者への今後の支援は。

町長 令和元年の台風19号と合わせ対応したい。今後も被災地に寄り添い支援を続ける。令和3年度は山田町の要請で技術職の職員を派遣する。

質問 見前川を含む一級河川5河川の改修状況は。

町長 岩崎川は県道不動盛岡線の上流を整備予定。芋沢川、太田川、大白沢川は引き続き改修中。見前川は危険箇所について対応する。

質問 消防団員を確保するための対応策は。

町長 消防演習等の各種訓練は、消防団と協議し実践的・効率的な内容を計画していく。若手団員の意見もききながら団員や家族の負担を軽減し待遇改善を図る。

質問 地域防災計画作成の際に女性の視点が必要と思うが。

町長 女性の視点が大事で、数値目標を持って改善する。

教育環境の

充実は

学校運営協議会

とも相談して

質問 全国的に小中高生の自殺が増えているが、SNSを

活用した相談体制の考えは。

教育長 本町は児童生徒にスマートフォン等を持たせないことを基本に指導している。SNSを活用した相談体制は無いが、GIGAスクール用端末を活用した仕組みづくりを考えていく。

質問 子育て支援のためにも給食費の無料化を。

教育長 町の財政状況を見ながら、対応方法を検討する。

質問 校則の見直しの考えは。

教育長 校則に縛られて多様性が損なわれないよう、見直しは生徒会や教職員により実施されている。また、学校運営協議会で取り上げていく。

質問 11月開始のスクールパスの利用状況と今後の考えは。

教育長 徳田小学校25名、煙山小学校89名、不動小学校19名が利用。来年度も小学校3校で冬期間に運行する予定。保護者や地域の方々と協議し、運行経路や停留所の位置等について見直しを行う。

乳がん対策の受診目標は 個別検診で50%を目指す



おがさわらよしこ
小笠原佳子 議員
(公明党)

質問 乳がん検診の受診状況受診目標は。また次年度の検診会場の変更について伺う。

町長 令和2年度は、618名、受診率25・1%となりコロナ禍の影響で例年より低い。目標は50%であり、個別検診に集約し受診期間を延長する。やはば産婦人科、県予防医学協会、県対がん協会「すこや館」での実施となる。

質問 乳がんグローブの配布により、自己検診の啓発を図る考えは。また、がん患者への補正下着や医療用ウィッグの購入助成支援は。

町長 導入することの効果を検証し、がん患者の経済的負担軽減のため検討したい。



婦人科検診を実施するやはば産婦人科（医大通り二丁目）

3歳児視力検査 問題点は

視力検査の
重要性を周知

質問 3歳児視力検査において、屈折異常や斜視が見逃されることを防ぐため、*スポットビジョンスクリーナーの導入について伺う。

町長 保護者に視力検査の重要性の周知を行い、郡医師会と協議し検討する。

ファミ・サポの 充実は 援助会員増やす

質問 ファミリーサポート事業は今年1月より、地域での子育ての援助活動のため始めた。その概要と課題は。

町長 また、病後児保育をファミリーサポートで行えないか。

教育長 多様化する子育てニーズに対応する、育児支援策として相互援助活動を有償で組織化した。

安定した援助活動が可能となる援助会員を増やす事が課題である。病児保育、病後児保育の体制を整備し、実現できるように努める。

住居確保 給付金の実績は

今年度は7件

質問 住居確保給付金の申請について動向を伺う。

町長 いままで実績がなかったが、令和3年2月現在は7件となっている。

* スポットビジョンスクリーナー：斜視および屈折異常を数秒でスクリーニング（検出）できる機器

国保税 子どもの均等割廃止は

令和4年度から 乳幼児の均等割5割軽減



かわむら
川村よし子 議員
(日本共産党)

質問 宮古市と陸前高田市は子どもの均等割を廃止しているが、当町も子どもの均等割を廃止できないか。

町長 町独自として子どもの均等割廃止は考えていない。国では令和4年度から均等割の半額軽減をはじめ。

質問 国保税は年収400万円以下で40歳未満の夫婦と子ども2人の4人世帯では38万3890円。中小企業が加入している協会けんぽでは4人世帯で19万9920円。年間18万円の差があり負担が大きいが、引き下げできないか。

町長 低所得世帯に対し、7・5・2割の軽減があり、負担が大きいわけではない。



令和4年度から国保税の乳幼児均等割が軽減される
(写真はふどうこども園)

質問 生産者の声を聴いたり、児童生徒の声を農家に届けたりし、地産地消率を高めては。
教育長 いま以上に作物の提供情報を把握し、献立とのマッチングで量を増やしていく。

質問 業務は指定管理者制度で行うのか。また、保護者説明会や今後の計画は。
教育長 給食業務の一部を業者委託。施設管理はこれまでどおり町が行う。
7月上旬にプロポーザル方式で公募、9月下旬には優先交渉者と仕様書などを調整し契約を予定。令和3年度のPTA総会で説明する。

プロポーザル方式で
業務の一部を委託

学校給食
委託方法は

質問 介護職員の人材確保は。
町長 介護事業所との意見交換を通じ、人材育成・確保に取り組んでいく。国や県に要望等の働きかけも継続する。

第8期
介護保険料は
基金を取り崩し
据え置き

質問 介護保険料の据え置き案が示された。年金も減額と

なることから、基金を活用し介護保険料を下げる考えは。
町長 介護サービス利用者の増加が見込まれ、保険料値上げも検討したが、基金を5千万円取り崩し、前期同額の6500円と設定した。さらなる基金の取り崩しについては、いまは考えていない。

スーパーシティ応募前に説明を 町民への周知は4月上旬に



おがわ ふみこ
小川 文子 議員
(日本共産党)



町政調査会でのスーパーシティ研修会 (令和3年1月)

質問 町では「中心市街地と周辺地域の格差解消」「コミュニティの崩壊危機」「健康意識を高めるしかけの導入」を地域課題にあげ、*スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に応募を検討している。
第6次総合計画で駅前1

07億円の大きな投資をしたことで、周辺の生活道路整備に予算が回らなかったことが、中心市街地と周辺地域の格差につながった要因と考える。
スーパーシティ構想での解決を考える前に、第6次総合計画の検証をすべきでは。

他の行政機関等に個人情報を提供できるとしている。
スーパーシティが、相当な理由に当たるとしたら、行政機関等への情報提供により監視社会につながりかねないと考えるがどうか。

町長 中心市街地と周辺地域の格差解消の課題は、もっぱら土地利用上の制約に由来すると捉えている。

町長 政府は国会で「スーパーシティであることが直ちに特別の理由に当たらない」という見解を示しており、ご指摘は当たらないものと認識している。

質問 国家戦略特別区域基本方針では、応募に当たり事業計画の内容、効果、影響と対応策等については、説明会等により、事前に住民等の意向を把握することとしている。
国に特別区域指定の応募をする前に、町民や議会に説明をする考えは。

町長 オンライン診療は個人が希望して選択するものであり、キャッシュレス決済はスマートフォンを持たない方も利用できる、広く普及・定着していると認識している。

町長 応募に当たっては3月末に議会へ、4月上旬に町民へ提案内容の周知を行う。

質問 行政機関個人情報保護法は、第8条で利用及び提供の制限を定めており、相当な理由があると認めるときは、

質問 国家戦略特区からの離脱の仕組みについて伺う。

町長 国家戦略特別区域基本方針に明記されており、区域の解除は可能である。

*スーパーシティ構想：さまざまな分野のデータを横断的に収集整理してサービスを提供し、地域住民の福祉・利便の向上を図る

ワクチンの接種順位は 優先順位は国で決定



やがみ ともこ
谷上 知子 議員
(令和やはば)



申告書の作成支援を行う町職員（役場庁舎内）

質問 保育・教育関係者、高齢者・障がいのある方や、子育て支援で活動するボランティアにできるだけ早い接種はできないか。

町長 優先順位は国が考え、市町村が実施する制度設計となっている。まずは医療従事

者への接種、次に高齢者、高齢者以外で基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従事者への順位となっている。

質問 接種を希望しない人のワクチンはどうなるのか。

町長 在庫管理は国で行い、国・県・町でシステム共有し余ることはない。情報を正しく伝え接種していただきたい。

確定申告

相談会継続を

寄り添い

今後も継続

質問 税の申告が難しくなってきた。e-TAX（イータックス）による方法もあるが、役場での収支内訳書作成相談会や確定申告作成相談会を継続して欲しいがどうか。

町長 町独自の取り組みとして、確定申告期間前には、個人事業主等相談の機会として、収支内訳書作成相談会も行う。高齢者をはじめとする、書類の作成の難しい方々にも申

告書が作成できるよう、寄り添った形で確定申告書相談会を今後も継続する。

若い世代への 再就職の支援は

国や県の制度を
情報提供する

質問 機械の特殊免許の取得や、パソコンの講習会で技術を身に着け再就職ができるように支援してはどうか。

町長 雇用の安定と再就職への促進を図ることを目的に、教育訓練受講に支払った費用の一部が支給される国の「教育訓練給付制度」がある。

また、資格取得を含めた多様なスキルを身に着けるための講習会を「離職者等再就職訓練」として県が実施している。これらについて国や県と密に連携し、町でも対象者に情報提供する。

そして若い世代や子育て世代の再就職について相談できる体制づくりを構築するなど支援を行う。



次の議会が楽しみ

町長さん、議長さん、議員のみなさま、毎日のお仕事ご苦労様です。議会の傍聴では議員さんの一般質問や一人一人の言葉が、私にとってはとても勉強になります。次の議会を楽しみにしております。一人でも多くの皆さま方、議会を聴きにいきましょう。家の近くのマンホールのごとやバスのご相談でしたら、議員さんがすぐに働きかけていただき、親切丁寧に

対応していただきました。感謝しております。ありがとうございました。スポーツについて、東京オリンピック、矢中町から水本圭治さんがカヌーで出場します。皆さん応援しましょう。新型コロナウイルスについて、1年過ぎても厄介なウイルスです。皆さんも一人一人が気をつけてください。健康が一番ですから、いつまでも元気で過ごしましょう。



はなだて 花立サツさん (南矢幅3区)
(写真撮影のためマスクを外していただきました)

議員の活動を
紹介します!

全員協議会について

全員協議会では
何をしていますか?

主に定例会前などに、町から提案される予定の案件について、説明を受けて議論をしています。年間25回程度開催しています。

全員協議会で話し合
われた事は、法的に決
定になりますか?

全員協議会は決定の場ではないので、法的効力はありません。

傍聴は出来ますか?

傍聴はできません。ただし人事案件等、できない場合もあります。



(コロナ禍で密を避けるため議場で行っています
通常は全員協議会室で行います)

- 3月29日開催した全員協議会では、次の内容について話し合いました。
- 旧矢中中学校敷地の利活用について
- スーパーシティ構想について
- 県央ブロックごみ処理施設整備予定地の選定等の取扱いについて



岩手大学教育学部で農業について講演を行う筆者

一般社団法人 しわ・まちコーディネット 代表理事

こう の かず ひろ
河野 和 広 さん (南矢幅4区)

プロジェクトで城内山を観光地に

30数年間、東北6県の農業部門で多収、品質向上の技術指導を中心にした活動をリタイアし、平成25年に一般社団法人しわ・まちコーディネットを立ち上げ、地域の価値の再認識と新しい価値の創造を目指し、さまざまな活動をコーディネートしています。

近年、森林の荒廃による災害や農作物への鳥獣被害などが問題になっていることから、『林野庁の里山をきれいにする交付金』を活用し、森林所有者にわかり交付金申請や作業班の紹介などを行っています。町長はじめ役場のみなさんの多大なるご協力をいただき城内山、北谷地山など矢巾町内の森林100診の手入れを終了したところです。

老人クラブ婦人部、町議会議員さんをはじめ、城内山に散策した人々たちから「城内山が本当にきれいになったね。」と喜んでいただいたことが大変うれしいです。

みなさまもぜひ足を運んでいただけたら作業班も喜ぶことと思います。

今後は、山林の手入れとともにプロジェクトチームを組んで城内山を本当の観光地にする夢を語り合い、できることから一つずつ実現できたら素晴らしい未来が待っているような気がします。

それにしては年をとり過ぎたなあ……。



伐採してきれいになった城内山

〇表紙に寄せて〇

4月7日、矢巾北中学校の入学式が行われました。真新しい制服を着た生徒たちは、緊張の中にも中学生になり凛とした表情が印象的でした。今日の出会いを大切に。



あ と が き

編集委員として一番の悩みは、限られた紙面に、読み手にも分かりやすく、かつ、的確に寄稿者の思いや議会の活動内容を表現できるかということです。しかし幾度となく推敲はするものの、出来栄はいまひとつというレベルです。今後とも、みなさまのお知恵を拝借し良い編集ができるよう努めてまいります。

編集委員 藤原 信悦

発行・編集責任者

議長 藤原 由巳

編集委員

委員長 水本 淳一

副委員長 廣田 清実

委員 藤原 信悦

吉田 喜博

小笠原佳子



古紙配合の再生紙と植物油インキを使用しています

過去のやばば議会だよりは右のQRコードからご覧いただけます

